

「松ヶ丘の点景 No,14」 R7.6.19

今農場の水田では、黒い箱状の物体が動いています。

昨年は「アイガモ農法」で稲作を試みましたが、自然豊かな環境のため野生動物の命の糧となり、担当生徒一同悲しい思いをしました。

今年は「アイガモロボット」の投入です。見た目はおよそ鳥には見えませんが、良くしたもので苗を避けつつ、畦にぶつくと勝手にバックし旋回し向きを変えて、水田の中をこまめに動き回っています。（因みに太陽電池で動きます）

下部についた柔らかな刷毛で、水中の水田面をかいてます。

人間も負けずに田車を押しますが結構疲れます。



自転車登校路からの眺め （奥に見えるのは、水田から約11m高い益田道路です。）



アイガモと言うより、プリンター？ のような姿